

《履修上の留意事項》遠隔授業のみ実施。

施設見学や実習、卒業後の実務場面を想定した体験的プログラムを組んでいる。学生は受動的に「講義を聞く」「聞いてわかる・知る」ことを目的とすることなく、毎行われる体験課題や実践的トレーニングによる学習場面に積極的に参加し、行動し、発言することが期待されている。

《担当者名》長谷川 聡（看）

【概要】

実習およびその関連科目学習に際して必要な患者・利用者・家族・職員とのコミュニケーション・スキルに関する知識と技術について、実技演習を通して基礎から学ぶ科目である。

【学習目標】

- 1) 医療・福祉・保健・教育専門職に必要なコミュニケーション・スキルと人間関係について理解するために、オンラインおよび対面による対人コミュニケーションに関する講義と演習により体験的に学ぶ。
- 2) 「コミュニケーションへの配慮」「傾聴的態度」「ことばの介助」を説明し実践する。

【学習内容】

回	テーマ	授業内容および学習課題	担当者
1	オリエンテーション	新型コロナの影響による授業オンライン化と、それに伴うシラバス変更について説明する	長谷川 聡
2	オンライン・コミュニケーション1	映像とカメラ	長谷川 聡
3	オンライン・コミュニケーション2	画像コンテンツの意味と表現	長谷川 聡
4	オンライン・コミュニケーション3	映像とマイク	長谷川 聡
5	オンライン・コミュニケーション4	音声コンテンツの意味と表現	長谷川 聡
6	ケアリング・コミュニケーション1	コミュニケーション原理	長谷川 聡
7	ケアリング・コミュニケーション2	ケアリング・コミュニケーション	長谷川 聡
8	ケアリング・コミュニケーション3	技能1.声かけ	長谷川 聡
9	ケアリング・コミュニケーション4	技能2.傾聴	長谷川 聡
10	ケアリング・コミュニケーション5	技能3.ペーシング	長谷川 聡
11	ケアリング・コミュニケーション6	技能4.非言語	長谷川 聡
12	ケアリング・コミュニケーション7	技能5.一往復半	長谷川 聡
13	ケアリング・コミュニケーション8	技能6.受容と共感	長谷川 聡
14	ケアリング・コミュニケーション9	技能7.オープンマインド	長谷川 聡
15	総括	1) コミュニケーション原理の再学習 2) ケアリング・コミュニケーション総括 3) 期末課題説明	長谷川 聡

【評価方法】

期末課題100%。

【備考】

教科書：指定しない。毎回、独自に開発したワークシートや説明資料等を配布する。

参考書：講義時に参考書リストを配布すると共に、推薦図書や論文について適宜解題する。

その他：積極的に学びたい学生は講義時間外にオンラインなどで、教員を相手にコミュニケーション・スキル練習の機会を作って構わない。（要予約、シラバスのオフィスアワーを参照のこと。）

【学習の準備】

内閣府によるインテーク面接に関する解説文書が以下のURLで公開されている。スマホやパソコンでダウンロードして予め読んで

理解しておくことが望ましい(3-4時間程度)

http://www8.cao.go.jp/youth/kenkyu/h19-2/html/pdf/5_2.pdf

【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】

DP1:心の問題にかかわる職業人として必要な幅広い教養と専門的知識を修得している。

DP3:社会の様々な分野において、心の問題を評価し、それを適切に判断し援助できる基礎的技能を修得している。

上記に掲げる心理科学部のディプロマ・ポリシーに適合している。

【実務経験】

行政職員(福祉技術職)

【実務経験を活かした教育内容】

相談機関での実務経験を活かし、相談受付から初期面接を終えるまでの受け入れ、ラポール形成、情報収集に至る相談過程を身につける。